

学生志す教師像

高校生らに紹介

名古屋でフェスタ

「高校生とともに教師の魅力を考えるフェスタ二〇一八」が十六日、名古屋市北区の愛知学院大名城公園キャンパスで開かれた。教員を目指す高校生ら約七十人が参加した。

愛知教育大が発案し、愛知教員養成コンソーシアム

連絡協議会が主催。愛知教育大の後藤ひとみ学長がいさつし「よい先生に出会えると、児童、生徒の人生が大きく変わる。教諭という仕事の魅力を知ってほしい」と話した。

その後、来年から教諭になる大学生三人が発表。北名古屋市の名古屋女子大四年小川愛美さん(三三)＝写真＝は、小学生のとき、顔を見て、その日の調子聞いてきてくれた恩師に憧れ、教諭を志した。「いつでもどこでも児童の声に耳を傾け、学校を楽しんでいる感じがしたい」と目指す教諭像を語った。

中日新聞社の小出宣昭主筆の特別講演もあり、「学問とは『学び』『問い』掛けでなく、歴史の意味を考えることを教えてあげてほしい」とエールを送った。参加した愛知教育大付属高校三年の石原命さん(一八)は「一年が近い先輩たちの思いが聴け、教員になりたいという思いが強くなった」と話した。

